

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校管理費
補助単独の別	補助

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	35,144	34,910		34,910			34,910	234
財源内訳	国	1,273	1,173	1,173			1,173	100
	県							0
	市債							0
	その他	429	502	502			502	73
	一般財源	33,442	33,235	33,235			33,235	207

事業概要	電気・空調設備保安業務、浄化槽維持管理、消防設備保守点検など、中学校施設の維持管理を行うための経費や、各校に1名配置している学校主事の人件費などを予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	施設の適切な維持管理を行うことで、生徒に快適な教育環境を提供する。		
現状と背景	中学校は市内に3校(第一、第二、第三)ある。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校備品整備事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	1,700	1,600		1,600			1,600	100
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	1,700	1,600		1,600			1,600

事業概要	パソコン等教育活動に必要な備品を購入し、生徒への適切な学習指導を行っている。施設備品の購入費を予算化している。	今年度見直し事項
事業目的	老朽化した備品の取替えや新たに必要となった教育備品を購入することで、生徒により良い学習環境の場を提供する。	
現状と背景	既存教育備品の老朽化が著しいため、学校現場からは買い換えなどを要望する声大きい。	その他

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校施設修繕事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	8,000	8,000		8,000			8,000	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	8,000	8,000		8,000			8,000

事業概要	学校施設の修繕料を予算化している。	今年度見直し事項	
事業目的	学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、危険箇所等の修繕を早急に行い、快適で十分な安全性、衛生的な環境を確保する。		
現状と背景	施設の老朽化が目立ち、生徒にとって危険な箇所も年々増加している。また、漏水等の維持管理面についての諸問題も増加している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校33人学級実施事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	4,000	4,000		4,000	2,000		2,000	2,000
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	4,000	4,000		4,000	2,000		2,000

事業概要	少人数学級での授業を実施するため、鳥取県に対して協力金として、加配教員の 人件費相当1/2を支払い、新1年生を対象とした33人学級制度を実施する。	今年度 見直し 事項	
事業目的	小学校から中学校へあがってきて不安を抱えている新1年生で33人学級を実施 することにより、児童1人1人に教員の目が行き届き、きめ細かな対応が可能とな り、学力の向上、不登校の抑止を行う。		
現状と背景	平成20年度から第一中学校で取組んでいる。環境の変化により、一番不登校に なりやすい1年生の生徒1人1人にきめ細やかな対応が可能となり、昨年に比べて 生徒1人1人の落ち着きが増した。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校指導補助員配置事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	2,993	3,098		3,098			3,098	105
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	2,993	3,098		3,098			3,098

事業概要	学力問題や心の問題をはじめ、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)生徒等、特別な支援が必要な子どもたちに対して、各学校に1名の指導補助員を配置する。指導補助員の人件費を予算化している	今年度見直し事項	
事業目的	指導補助員を配置することで、特別な支援が必要な子どもたちへの個別的な学習支援、補助が可能となる。		
現状と背景	各校に1名ずつ補助員を配置している。子どもを取り巻く環境が悪化しているためなのか、特別な支援が必要な子ども達の数は年々増加している。	その他	

会計	10	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費

所管課	教育総務課
事業名	中学校グラウンド整備事業
補助単独の別	単独

	前年度	要求段階		財政課長内示	総務部長・市長査定 (増減額)	最終調整 (増減額)	予算計上 = + +	増減 -
		当初要求	追加要求等					
事業費	0	11,398		0			0	0
財源内訳	国							0
	県							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	0	11,398		0			0

事業概要	経年劣化等によりグラウンド表面の土が流出し、水はけが悪く、凹凸ができている第一中学校のハンドボールコート及び第三中学校のテニスコートの整備を行う。	今年度見直し事項
事業目的	体育やクラブ活動等で生徒が安全にグラウンドを使用できるよう整備する。	
現状と背景	両グラウンドとも雨により表面の土が流出し、表面に凹凸ができ、水はけもよくない。	その他